

(1)～(27)までが7/8、(28)～(37)までが7/9、(38)～(63)までが7/10、
(64)～(73)までが7/11の保護者説明会でいただいたご質問・ご意見

(仮称)研究学園小学校、研究学園中学校
開校に関する保護者説明会

No.	ご質問・ご意見	回答
(1)	新しく研究学園小学校中学校に、今、学園の森に通っている子供たちは、移るか移らないかという選択なのか。それとも、必須なのか。学年何年生以上だとか、また兄弟がいるとかいないとか、今決まっていることはあるのか。	この学区案がそのまま決定となれば、開校する令和5年4月に新しい学校の学区にお住いの新小学校1年生から新中学校3年生までのお子さんのいらっしゃるご家庭については、令和4年11月末頃に就学通知をお送りします。その上で、新しい学校に行くという手続きをされるか、もしくは、他の学校へという学区外の手続きをされるかということになります。現在のところ、いずれかの学校を選べるという選択制は考えていません。 学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(2)	通学区域が決定したらという話だが、今後どのようなプロセス、時期を経て決定に至るのかを教えてください。	保護者説明会のあと、地域住民の方を対象とした説明会を実施いたします。その後、皆さんの意見等を踏まえて、この学区について再度検討した上で、最終的には教育委員会で規則の変更があります。開校が令和5年4月ですので、前の年の令和4年11月に、新しい学校の学区のお子さんに就学通知をお出しする必要がありますので、遅くとも10月までに、この規則の変更が必要です。
(3)	配置図の方を見ると、新しい学校のクラス、教室の数が、小学校は3クラス、中学校は各学年2クラスというふうに見えるが、まずその認識で合っているのか。仮にそれが合っていたとしたら、学級数の推計の数を見ると、その教室の数が足りなくなるのが、もう早々にやってくるように見えるが、そのあたりはどうなのか。	開校時は、小学校：各学年3学級×6学年＝18学級、中学校：各学年2学級×3学年＝6学級分の普通教室を整備する計画ですが、今回行った推計では、小学校：最大19学級程度（令和8年頃）、中学校：最大9学級程度（令和13年頃）分の児童生徒数となることが見込まれています。想定する最大学級数に対応するために、予め多目的スペースを普通教室に転用することを想定した設計としており、それによって、小学校：最大22学級分、中学校：最大9学級分の児童生徒数に対応可能となります。
(4)	学校の建設予定地で草を刈っていたが、工事は始まったのか。	令和3年6月25日の議決を経て施工者と契約を締結し、翌日（令和3年6月26日）より、工事を開始しています。施工にあたり、周辺の住民の方には、工事実施のご案内文書をポスティングさせていただきました。
(5)	ダンプカーが入ってきて経路について議員にも話をしているが、どうなっているのか。安全第一ということを教育長も話していたが、どのように動線をとってやっていくのか。安藤ハザマが配布した資料に記載されているのか。	工事車両については、イエローハットとローソンの間の道路から進入する計画です。当道路は車道部分とは別に歩道が設けられており、歩車道分離という形の道路になっています。距離は250mぐらいありますが、進入時の安全配慮を徹底するよう指導していきます。 工事車両の動線については、施工者（安藤ハザマ）により配布させていただいた資料に掲載しております。
(6)	学区分割後児童生徒数推計に学園南1丁目とか、外側の児童の数は含まれているのか、含まれていないのか。	学区ではありませんが、当初の推計のときから、学園南1丁目というのは、推計の中に入っております。
(7)	中東原新田と面野井も新たに、研究学園小中学校に加わるということだが、ここもみんな今越境して、学園の森義務教育学校に行っているということか。	学園南1丁目、中東原新田は、学園の森に学区外でほとんど行っています。面野井については現在、島小小学校でして、今のところ学園の森には就学していません。
(8)	資料に現在の丁目ごとの人数が載っていて、その他というところの人数が結構いたのが気になったのだが。	学区外から来ている方をその他として記載しています。
(9)	想定数字が、ちょっと膨らましてるんじゃないかなと疑念を抱いた。もうこの区域は、新しい小学校ですと決められたら、もうそれは拒否というか学園の森に残るということではできないということではないのか。	学区が決まりますと、この学区内にお住まいで、開校する時に新小学校1年生から新中学校3年生の保護者の方に令和5年4月からの学校は、(仮称)研究学園小学校、研究学園中学校が指定学校ですという就学通知をお出しします。その上で、新しい学校に行くのか、他の学校に行くかという二通りの手続きになります。新しい学校でない学校を希望する場合は、学区外になりますので、申請いただきその内容を審議した上で、承認される承認されないになります。 学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html

No.	ご質問・ご意見	回答
(10)	今現在学園の森に通っており、分割後も学園の森になるかと思うが、逆に、研究学園小学校に行きたいという希望は出せるのか。また、自分のタイミングで、その就学手続きをして認められれば新しい学校に学区外として通えるという認識でよいのか。	同じように学区外申請が必要になります。新しい学区の方には就学通知をお出ししますが、新しい学区でない方については就学通知は届きません。令和5年開校時から、新しい学校を希望であれば、12月以降に学区外申請を出していただいて、その内容を審議した上で、学校の変更を認められれば通うことができるようになります。学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(11)	学区外申請をして、その承認される基準というのはいくらかあるのか。	学区外許可基準があります。こちらは、ホームページにも載せていますし、学務課では、印刷したものがあります。学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(12)	学園の森は、義務教育学校で小中一貫ですけれども、今回、研究学園小学校中学校というのは、一貫ではなく校舎が併設されているが、分かれるということかどうかということ、その場合同じ学校から変わった場合に、教育方針が変わることで、混乱する場合もあるかと思うので、その辺りの考えをお聞かせいただきたい。	新しい学校は、併設型の小中一貫校という形になります。内容といたしましては、義務教育学校と同じで、つくば市内はすべて小中一貫教育の方を推進しておりますので、どちらの学校においても、9年間を見通した弾力的効果的な教育課程を編成します。
(13)	学園の森義務教育学校は、変わらずマンモス校ということで、研究学園小学校と行事の違いというのは出てくるのか。例えば、参観とか、マンモス校だから学園の森義務教育学校はできない、運動会とかもできないけど、研究学園小学校は少ないのでできますという違いは出てくるのか。	義務教育学校は9年間、すべて通してありますので、前期課程から後期課程に行く時に卒業式はございませんが、今度の学校に関しましては小中学校別になりますので、小学校での卒業式、そして中学校で入学式というものが入ってくるのが、一番の違いかと思えます。子供の数、規模に応じて行事等は設定していくこととなりますので、そういった点の違いは出てくるかと思えます。
(14)	学区分割後の学園の森と研究学園の学校の人数とクラス数を見た時に、学園の森の方は、例えば1年生で見ると、ずっと9クラスのまま令和7年度まで推移している。学区を分割することによってクラス数が減るのかなというのを想像していたが、変わらず9クラスのまま、小学校の人数合計で見ると、令和7年度まで徐々に増えてる。それぞれの学区の人数比を見比べてみると、人数の差が約3倍の差がある。半分とまではいかないとは思ってはいるが、ここまでの人数差を出した状態で、学園の森は引き続き人数が多い状態で、新しい研究学園小学校中学校に関しては大体平均2クラス、3クラスとなっている。今後のこの研究学園地区の人口増加、小学校中学校の生徒の数の増加とかを踏まえて、どうしてこのような形で割り振りしたのか意見を聞かせていただきたい。	学区を考える際、学園の森をどこかで切らなければいけないということがあったので、今回この形でお切りしたのは、一つの行政区はできるだけ一つで、できる限り分割しないことを前提として検討しました。学園の森1丁目から3丁目は、学園の森義務教育学校北側の地区のため、そこを新しい学区に入れるのは難しい。次に、研究学園2丁目は、新しい学校の用地がありますから、新しい学校の学区に、3丁目は人数も考えた上で新しい学校としました。4丁目は、人数が結構多いところですが、遊歩道などを使って、学園の森がすぐ近い状況もあったので、地域性を考え、学区審議会への諮問案は、4丁目は学園の森にしました。5丁目については、道路で駅前と来夢の杜に分かれていましたので、駅前の方は新しい学校、来夢の杜の方が、学園の森という学区で作りました。人数差が出たことについては、5回の審議会の中で話し合いをしていただいていたので、4丁目を新設校の学区としてはどうかということも、話し合いをしていただきました。この時には、人数をお出しして、それをもとに、学校と保護者の方で、アンケート調査をやっていた上で、4丁目は、新しい学校ではなく学園の森というご意見があったことも踏まえて、学園の森にという答申が出たということになります。学区審議会での話し合いの内容等については、こちらのURLにて公開しています。 つくば市学区審議会ホームページ https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/mezasu/1013447.html
(15)	住民の意見もある程度反映をしてくるか、考慮には入れているということなのか。	学区審議会委員につきましては、保護者代表の方、区長さんや地域の代表の方に地域住民代表になっていただき、一回ごとに、資料等を持ち帰っていただいで、地域や保護者の皆さんに意見を聞いてきていただいで、それを吸い上げて、次の審議会に臨んでいただきました。皆さんの意見についてお話ししていただいで、審議会で審議をしていただきました。
(16)	学園の森の教室が足りなくなるんじゃないかという懸念はないのか。春日が開校して1年目2年目のところで、急に校舎が足りなくなって作ったりとかしていたと思うが、そういう急増の校舎のところで授業を受けたりするというよりは、ちゃんとした学校の施設で、授業を受けたい。今何が起るかかわからない状況ですので、初めから計画した学校の教室数の内で、ちゃんと授業を受けられるようにして欲しいなど。逆にそれをオーバーするのであれば、これから学校作るわけなのだから、そういった人数のことも考慮に入れて、早い段階で判断していただいで、学園の森の方から、もう少し人数を、研究学園の学校の方に移すといったところも、考えていいんじゃないかと思うが。	ご意見としてお伺いさせていただいて、またこれから検討させていただきたいと思えます。推計については、もうこれ以上ないような形の100%になるということで見積もっております。数値については、推計もしましたが、実数値も毎年確認しておりますので、その辺も踏まえて、ご意見として承ります。

No.	ご質問・ご意見	回答
(17)	TXの線路に近い側に校舎が建つということで、近隣の方への配慮があったのかなというふうに想像しているが、やっぱり騒音とか、振動とかが、児童の集中力とか、あと精神的に不安定にさせるというようなことに影響しないかということをお心配している。騒音とかは、どういった窓の仕様にするとか、あと教室はどれくらい離すかなど、何かある程度シミュレーションされてるのかなと思うが、どれくらいのレベルに、デシベルとか、感覚的なものでもいいが、そういったところを設計されてるのかっていうのを教えていただきたい。あと振動はなかなか防ぐことができないと思うが、バックグラウンドのものを測られているのか教えていただきたい。	騒音については、実際に校舎3階相当の高さで測定を行い、TX車両通過時には約70デシベルの音が計測されました。その結果を基に子どもたちへの影響に配慮した設計としています。具体的には、遮音性の高い建具(サッシ・窓ガラス等)を採用することで、「学校環境衛生基準」で定める基準値(50デシベル以下)以下である、40デシベル程度にまで抑えられる想定です。また、子どもたちが最も多くの時間を過ごす普通教室をTX側(南側)ではなく、北側に配置することで少しでもTXからの影響を抑えられるよう配慮しました。 振動についても、現地での測定を行いました。対策が必要とされる値以下の結果でした。
(18)	学区外申請をして、ほぼほぼ皆承認されるのか、もしくは、承認されなかった場合、理由としてどういう理由が多いのかをお聞かせ願いたい。	基準に照らし合わせて、内容を確認して審議します。承認されなかった場合の理由については、基準に当てはまりませんので認められませんというものになります。学区外については、申請内容が個人個人の内容ですので、それを全部審議しますが、受け入れ先の学校のキャパシティとか、例えば受け入れ困難校になっているということも考慮した上で、基準に照らし合わせて、承認するか承認しないかになります。 学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(19)	学園の森義務教育学校には、小さいプールがあるが、今度、研究学園小学校中学校の方でできる温水プールの方を、使うことができるのかお聞きしたい。	(仮称)研究学園小学校・中学校にはプールを整備する予定はありません。(仮称)研究学園小学校・中学校の児童生徒、学園の森義務教育学校の一部の児童生徒については、みどりの地域に新たに整備予定の(仮称)みどりの学校プールを利用することを想定しています。利用する児童生徒は市で用意するバスで移動し、その他市内複数の学校の児童生徒も利用する計画です。
(20)	今回学校が変わるということで、一番影響あるのは子供かなと思う。その際に、残る側も、新しい学校に行く子も友達と離れ離れになるということもあるため、今どういったケアを考えられているかというところがあれば教えていただきたい。	新しい学校に移る場合も既存校に残る場合も、お子様がその心理的負担を感じるというケースは当然あるだろうと認識しております。まず一番大事なことは、児童生徒の皆さんの心に寄り添うことが一番大切だ認識しております。そのためには、まず、日々の生活の中で、一人一人の様子をしっかり見ていくことももちろんですが、定期的を実施している生活アンケート等でも、学校を移ることに関しての不安などはしっかりと見ていくことが必要だと考えています。また、保護者の皆様からのそのようなことに関しての相談を積極的に応じていこうと考えております。これらの対応を通して、できるだけ不安がない状態で、新しい学校でのスタートが切れるようにしていきたいと考えております。
(21)	どうしても聞きたい内容がこの後出てきた場合の連絡先とかは、どこかに載っているのか。	この後のご質問、ご意見については、学校ホームページからご確認くださいませ専用サイトからお問い合わせいただけます。市役所教育局学務課の窓口がありますので、お電話等でお問い合わせ、ホームページでもご意見、ご質問いただけます。
(22)	新しい学校ができたときに、研究学園2丁目の方と、交通動線についてどのように考えているか教えていただきたい。なぜかという、春日の小学校で、かなり住民の方と、車のお迎えとか、学童のお迎えとかで、トラブルがかなり頻発して、毎月のようにお手紙が届いていたことがあり、そういうことを避けるためにも、保護者の方のお迎えや学童の方のお迎えについて、住民と、登下校する子供たちと保護者のお迎えの方との安全を図れるようにどのように学校の方でできるのかを教えてください。	新設校開校後に保護者の送迎等によって、研究学園は2丁目内の交通量が増えることで、近隣にお住まいの方々にご迷惑をおかけしてしまうことを懸念しているところです。教職員用及び来校者用の駐車場を校舎側ではなく、西側の拡張グラウンド側に整備する計画です。西側敷地の駐車場内へは、研究学園2丁目の住宅街を通過せずに、市道1019号線から直接進入することが可能となるため、研究学園2丁目内の交通量の増加を最小限に留められるものと考えています。
(23)	こちらの児童数と学級数の推計は、かなり正確なものだと判断してよろしいか。新しい住宅地ができるのかといった個体数も、計算に入れていると考えていいか。	この開発地域は、計画戸数と計画人口があります。その丁目ごとの計画戸数が100%になるという想定で、今回推計をしております。最大値で見えており、今までの児童生徒数、人口すべてをもとに計算しております。あくまで推計のため、やはり違う部分も出てくるので、乖離については、常に確認しております。
(24)	これ以上小学校、中学校作る予定はないということか。	現段階では、この地域には(仮称)研究学園小学校、研究学園中学校を建設する予定のみです。
(25)	学園の森義務教育学校が、令和7年に2400人になるということなので、プレハブ校舎が作られると思うが、どのあたりに作られるのか。	今回行った推計に基づくと、学園の森義務教育学校の更なる増築は不要であると考えています。
(26)	研究学園小学校中学校でもし、溢れてしまった場合、そちらでは、プレハブを作るという計画は今のところないのか。	現推計の中では、新たな校舎の増築について、計画としてはありません。

No.	ご質問・ご意見	回答
(27)	令和5年度を目指して開校されるということだが、このご時世何があるかわからないため、仮に、令和5年度開校できなかった場合、どのようなプランとかがあるのか教えていただきたい。バックアッププランは全く考えないで、ノープランでいかれるのか。	万が一開校が遅れることになってしまう場合、あくまでも最悪の事態の想定となりますが、学園の森義務教育学校の一部の特別教室等を普通教室に一時的に転用しての対応となるかと思いません。
(28)	体操服や教材については、学園の森で購入しているが、新しい学校でも使うことはできるのか。	保護者説明会、地域の方を対象とした住民説明会の後、開校準備委員会を立ち上げます。市役所は事務局として入り、保護者の方、学校の先生がメンバーとなります。そこで制服や体操服、校歌、校章など色々なことを決めていきます。学園の森が開校するときも、準備委員会を立ち上げまして、アンケートを実施するなどして、制服を決めました。今回も同じように考えていますが、負担を考慮し、今ある制服や体操服を変更で使っていくのか、全面的に変えるのかアンケートも検討しています。その中で、買い替えのタイミングで新しいものに変えるとか、そういったことも話し合っていければと考えています。
(29)	学園の森と新しい学校の教育の違いや、方針の違いはありますか。	つくば市内の小中学校は、施設一体型、施設分離型の小中学校に分類されますけれども、どれも同じように小中一貫教育を推進しています。どの学校においても、9年間を見通した弾力的効果的な教育課程を編成しています。今回新設する学校は施設併設型となりますが、教育課程に大きな変更はございません。
(30)	今、学童を利用して、学園の森から近いところを利用している。新しい学校だと、結構離れてしまうので、その辺の対応はどのように考えているのか。民間クラブと話し合いも予定しているか。	学童に関しましては、毎年度申請をしていただいて、毎年度許可をするような形なので、その際に学区をお伝えした上で、審査させていただいて、在籍する児童クラブを決定していきたいと思しますので、申請をいただいたときに判断させていただきたいと思します。民間児童クラブの誘致については検討していきたいと思します。
(31)	通学路についてですが、市役所の南側高架下に幅広い歩道があるかと思うが、それが途中から駐車場で寸断されてしまっているような道になっており、そこは通学路になる予定なのか。	ご指摘の箇所は、市役所の用地として借地している土地であり、供用の通学路として用途を設定することが難しい部分があります。
(32)	小学校が建つ辺りが住宅街になると思うが、学童を利用したいと考えているため、車で送迎する際に交通渋滞や安全面についてうかがいたい。	児童クラブに関しては、児童クラブの駐車場出入口を小中学校と児童クラブの間の道路に1か所のみ設けまして、北側道路を通行せず、駐車場へ進入できるような配置にしたいと考えております。なお、駐車場は、今のところ45台分を想定しており、駐車場出入口や、付近の道路に車が滞留することのないように、出入口に十分な間口を設け、敷地内で旋回できるような配置計画とし、渋滞がないような計画としています。
(33)	質問ではないが、3つの大事なポイントがあると思っている。移転するにあたって、通学路とか校内の安全性が損なわれないようにということ、あと、教育方針、教育内容について一貫して移転しても継続していけると、あとは、移転に伴って、体操服とか学童についてのスムーズな対応がポイントかなと思っている。つくば市では、何校か新設されたと思う。色々な反省点とか良い点とか出てきたと思うので、ぜひその辺を反映していただいて、新しい学校に生かしていただければと思う。小学校のうちに、真新しい学校に2回行くということは、なかなかないことだと思うので、前向きにとらえているので、ぜひ良い学校にしていいただければと思う。	つくば市では、平成24年の春日学園義務教育学校以降、4校の義務教育学校を建設してきました。そのなかでの課題等を踏まえ、今回の学校建設にも活かせるよう事業を進めているところです。また、新設校の建設にあたり、学校現場の声を集約し、事業に反映させるため、先生方に学校施設の在り方等に関するアンケート調査を実施し、その意見を基に様々な工夫をしています(児童の体格差を考慮しすべての普通教室へ可動式黒板の設置等)。今回の説明会で頂いたご意見はもちろん今後も多くの方々のご意見を活かしつつより良い教育環境を提供できるよう努めていきたいと思します。
(34)	学校の休日に図書室などを地域の方に開放するという話があったが、住宅街で狭い道になっていて、人が集まって来ればそれはそれで問題かなとも思ってる。校舎を開放するという取り組みは、ここの学校だけなのか。それとも他の学校でもこういった動きがあるということなのか。	つくば市ではこれまでも「つくば市学校施設開放事業」として、市内小中学校の体育施設(体育館、武道場、グラウンド)の一般開放を行ってきたところです。今回の(仮称)研究学園小学校・中学校については、学校体育施設に加え、図書室や家庭科室等の開放を行うことを想定した設計としています。また、同時期に開校予定の(仮称)香取台地区小学校についても同様に特別教室等の開放を行う想定をしています。
(35)	人数の推移のところだが、新しい学校と学園の森との人数の差が、学区できっちりとわけた推移なのか、例えば中学3年生になる子が越境することを見越した数字なのか気がなっている。	推移については、新しい学校の学区で切ったときの数で出しています。越境などを見込んだ数字ではありません。

No.	ご質問・ご意見	回答
(36)	最後の1年間を学園の森義務教育学校に通いたいというのは、今は選択できるかどうかはわからないということか。	学区が決まった時には、新しい学区にお住いの新小学1年生から新中学3年生のお子さんがいらっしゃるご家庭には、令和4年11月末頃に就学通知をお出しします。令和5年4月からは新し学校になるというお知らせになります。新しい学校へ行くことが原則にはなりますが、違う学校を希望する場合は、学区外申請をしていただいて、申請内容を基準に照らし合わせて審議し、判断させていただきます。希望する学校のキャパシティや、その学校が受け入れ困難校になっていることなど色々なことを考慮し、その内容や理由を審議して、結果をだすようになりますので、今のところ認められるか認められないかについてのお話はできません。現在のところ、いずれかの学校を選べるという選択制は考えられていません。 学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(37)	人数の推移を見たところ、学校を分割しても、学園の森の人数が増えることになっているかと思う。もう少し先を見た時に、今の施設で足りるのかどうかとか、また新たなプレハブ校舎が建設される予定があるのか、先の予定について、わかれば教えていただきたい。	今回行った推計に基づくと、学園の森義務教育学校の更なる増築は不要であると考えています。
(38)	みどりの学校プールのオープンが令和6年度で、研究学園小中学校の開校よりも1年遅いが、令和5年度の研究学園小学校中学校の水泳授業はどういう予定になっているのか。	開校年度の令和5年度の水泳授業については、既存の近隣の学校のプールや民間のプール等を借用することで対応したいと考えています。
(39)	平面図を見ると、緊急時における避難経路が非常に少ないと感じるが、それについて、すでに消防とか、それらに関するところ、確認が取れている状態での設計なのか。	消防法や建築基準法等の関係法令と照らしながらの審査及び許可を経た上で今回の建設工事の発注に至っています。避難経路についてもそれら法令等に適合した設計となっています。
(40)	建設するにあたって、法律に定められた資料について開示されないのか。口頭だけではなく、これをもって間違いなく、避難経路を確保できますというのがないと非常に危険だと思う。例えば、教室の方が1ヶ所に集中しているが、仮に左側なり、西側かもしくは東側が、避難経路封鎖された場合経路が完全に塞がれると思う。その辺も考えて、もう一度確認をしてもらいたい。もし確認して、問題ないというのであればそれを開示してほしい。	学校建設にあたり、建築基準法、消防法等に基づいた審査が必要となりますが、既に確認済証が下りています。(仮称)研究学園小学校・中学校は、廊下が回廊型となっており、右左2方向からの避難が可能な計画となっております。確認済証の開示については、下記URLをご参照ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/1015086/1015089/1014898.html
(41)	新設校ができるにあたって、通学路の設定などもしていかなければいけないと思うが、その場合どういった順序を踏むのかということと、通りたい道路の調整はどことすればいいのかということをお願いしたい。	保護者説明会、地域の方を対象とした住民説明会の後、開校準備委員会を立ち上げます。市役所は事務局として入り、保護者の方、学校の先生がメンバーとなります。そこで制服や体操服、校歌、校章など色々なことを決めていきます。その中で、実際に登校班ごとの通学路を回っていただくようなことをお願いしたいと考えています。我々で前もって、カーブミラーが必要とか、現場を見ながら確認しますが、お子さんの目線とか、保護者さんで通るところを想定していただいて、こういうものが欲しいということがあれば、学校と相談しながら準備委員会を通して、お出しただければ、道路の担当課や警察等に要望していく形になります。
(42)	つくば市は、小中一貫教育を進めるという形になっていたかと思うが、今回義務教育学校ではなく、小学校と中学校に分ける形になった経緯を教えてください。	ご指摘の通り、つくば市の小中学校は、すべて小中一貫教育ということで進めております。今回は、義務教育学校ではなく、施設併設型の小中一貫校ということで、新たに設定をいたしました。どちらも小中一貫校ですので、カリキュラム的には、9年間を見通した弾力的効果的な教育課程を編成し、実施するという点では同一になります。ただ、今回は施設併設型の小中一貫校ということで、設立したということでございます。
(43)	学校の開校にあたって西側に第2グラウンドも、設置する予定みたいだが、ここを工事するにあたって、西側の道路にも車両が結構行き来するのかどうかを知りたい。	西側の拡張グラウンドの整備は、令和3年秋頃からの工事着工を予定しております。工事期間中、工事車両による西側道路(水路脇)の通行量が増えることが想定されますが、十分に安全に配慮したうえで実施してまいりますので、ご理解の程お願いいたします。

No.	ご質問・ご意見	回答
(44)	<p>学区の変更が初めてなためイメージがわからないのだが、自動的に変更になるということなのか。それとも、今の学校が良いと言えば残れる、というイメージなのか教えていただきたい。 お友達がいるから、今の学校のままだがよいという、そういうゆるい感じではないということか。</p>	<p>この学区案がそのまま決定となれば、開校する令和5年4月に新しい学校の学区にお住いの新小学校1年生から新中学校3年生までのお子さんのいらっしゃるご家庭については、令和4年11月末頃に就学通知をお送りします。令和5年4月からの学校は、新しい学校になるという通知です。原則的に、新しい学校に就学していただくこととなりますが、新しい学校以外を希望ということになると、学区外申請が必要となります。それぞれの申請内容を、学区外基準に基づいて審議いたします。ただし、受入校の方のキャパシティや、受け入れ困難校になっていること等、色々な状況を考慮しながら、それぞれを審議した上で、承認するか承認されないかということとなります。現在のところ、いずれかの学校を選べるという選択制は考えられていません。 学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html</p>
(45)	<p>現在5年生以上の子供たちに関しては、すでに春日との分校を経験している。その時に沼崎小学校、葛城小学校からも多くの児童が移動してきて、移動してくる子供たちにしても、残される学校の方の子供たちにしても、たくさん涙を流して辛い思いを経験した。私も見てきたので、とてもそれは痛感している。その子供たちに、2回、また分校というものを味合わせるの、とても悲しいなと思っていて、自分の子供もちょうど5年生で、またかという思いでいる。なのでせめて、仲の良いお友達がいるから残りたいという理由については、5年生以上で2回味わうことになる子供たちにとっては、少し選択肢を与えてあげたいと思う。また、体操服が変わったりとかして、今までの体操服を使っていいということだったが、それでもやっぱり新しい学校のみんなと同じ体操服を使いたいという子供たちのために、学園の森の新しい体操服を準備した家庭がたくさんあった。そういう金銭的な面でも、5年生以上の家庭は、負担した。使ったものでいいですよと言われると思うが、やっぱり子供たちの気持ちを考えると、新しいものを用意してしまうのが親心というものなので、過去に負担した家庭が2度の経験は酷かなと思うので、その学年は選択肢を与えてあげられないものかなと思う。</p>	<p>現段階でお答えできるのは、学区もまだ決まっていませんので、決まった後の手続きとしては、指定学校か、学区外かという形になります。学区外については、申請を出していただいて、基準に照らし合わせて、全て審議いたします。体操服や制服は、やはり新しくすると、お金がかかるものだと思いますので、今後開催する開校準備委員会の中で、色々決めていただきたいと思います。例えば、学園の森の制服は、学園の森と書いたワッペンがあり、体操服も学園の森と名前が書いています。それを新しい学校は、同じ色で文字を変えるだけとか、ネクタイとかりボンを変えて、色を変えるようにするとか、反対に、全く同じものでもいいんじゃないのとか色々なご意見があると思いますので、開校準備委員会で話し合いをしていただいて、決めていただければと思います。</p>
(46)	<p>この学校が予定されている最大の受け入れ可能な人数と、今後の学区内の生徒の見積もり、資料を見ると、令和7年まで示されているが、その後の開発も含めてどういふふうになっていくとか、つくば市の方でどういふ計画を持って、学校のデザインをされているのかといったところが知りたい。</p>	<p>推計につきましては、適正配置計画の中で、この先20年間の児童生徒数の推計をしております。開発地域につきましては、開発地域の中での住宅の計画戸数と計画人口のデータを入力し、計画戸数が100%に達するまでに、どれだけ時間を要するかという推計をしています。学園の森とみどりの学園については、どれだけスピードかが、はっきりとわからないため、一番早いのは5年、その後5年刻みの4パターン、5年、10年、15年、20年という4つの推計をしました。それをもとに新しい学校と、学園の森に分けた時の人数も計算しております。令和7年度までの人数をお出ししておりますが、令和9年、令和10年ぐらいがピークになると予想しています。それ以降は、維持するか、徐々に、少しずつ減るといふ推計になっていきます。 つくば市学校等適正配置計画 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/mezasu/1001146.html</p> <p>開校時は、小学校：各学年3学級×6学年＝18学級、中学校：各学年2学級×3学年＝6学級分の普通教室を整備する計画ですが、今回行った推計では、小学校：最大19学級程度（令和8年頃）、中学校：最大9学級程度（令和13年頃）分の児童生徒数となることが見込まれています。想定する最大学級数に対応するために、予め多目的スペースを普通教室に転用しやすい設計としており、それによって、小学校：最大22学級分、中学校：最大9学級分の児童生徒数に対応可能となります。</p>
(47)	<p>その前からの歴史でいうと、春日がパンクし、学園の森もパンクした。今回も同じことがあるように見えてしまう。推計は、当然あると思うが、上振れしたとき下振れしたときの、その割合があつていなかったと思う。その辺の、どこまで増えても大丈夫だということを、きちんと数字で示していただいた方がいいのかなと思う。</p>	<p>計画戸数をもとに、100%になるという形で推計しております。推計は、あくまで予想ですので、推計値に対して、毎年実際学校の児童生徒数も把握し、その差についても全部確認しています。これ以上ないという、上限で計算はしていますので、それ以上増えることがないのではないかと考えています。</p>

No.	ご質問・ご意見	回答
(48)	<p>計画はあくまで計画であって、その予定通り進むとは思わないし、研究学園小学校中学校も予備の教室を作っていると言っているが、これもまたパンクする可能性は十分にあるだろうと。学園の森の時に聞いたのは、近隣の学校から転校してくる、予定外に入ってくる生徒数が多くてパンクしたという話もあるので、研究学園もまた同じことが起こる可能性はあるんじゃないかと。そうすると、そのパンクしたときに、どこにプレハブを作るんだという話までちゃんとしておくべきではないかと思う。どこまで、甘い見通しでいくのか、最悪の場合どうするのかという問いに対する、対処については、検討しなければいけないだろうと思う。そうだと、おそらく第2グラウンドにプレハブを建てることになるのではないかと勝手に想像したが、教室が今の計画でパンクした時に、どこにプレハブを建てるんだということについて、コメントをいただきたい。</p>	<p>100%計画戸数に達するという見込みで推計を行っており、推計以上に増加することは想定しづらいところですが、万が一見込み以上に児童生徒数が増加し、更なる増築が必要となった場合、教育上の配慮から別敷地への増築は難しいため、同敷地内への増築を検討することになるかと思えます。</p>
(49)	<p>もし、学区のエリアが変更した場合、このシミュレーションの数値も変わってくる。さらには、学区外からの児童の受け入れをどの程度認めるかということで、この辺りの数値、大分変わってくるのではないかと思う。学区がまだ確定にならないという点、理由が何かあれば教えていただきたい。</p>	<p>新しい学校を作るとき、学区の設定について学区審議会で審議していただきます。審議の過程の中で、人数差等ありましたので、研究学園4丁目を新しい学校の学区にした場合の人数もお出しして、審議していただき、今回のこの答申案で出されました。今、お示しているのは学区案であり、保護者の方、地域住民の方のご意見をお伺いし、検討した上で、最終的には教育委員会で決定していく形になります。</p>
(50)	<p>最終的に学区が決まるのはいつごろを想定されているのか。</p>	<p>令和5年4月の開校ですので、令和4年11月には就学通知をお出ししなければいけません。このため、遅くとも令和4年10月までに教育委員会で規則の変更が必要となります。</p>
(51)	<p>空き教室があるから大丈夫っていう説明は、2番目の入学説明会の時にもあった。そのあとすぐに、教室が足りないから増築しますっていうことになったが、今度の学校は住宅地の中にあるということで敷地も狭いですし、新しいプレハブ小屋を建てるというのは難しいと思う。なので、人数のことにに関して、学区のことにに関しては、かなり重要なことだと思う。春日は空き教室があると聞くが、そういった学園の森と新しい学校だけではなく、春日とかも含めた広い目で見た学区の変更というのは検討しないのか。</p>	<p>学区審議会においても、春日も含めた活用について話がありました。学園の森と、新しい学校と、春日となったときに、どこで学区を分けるのかということも含めて話し合いもしていただき、現行の形で答申として出されました。新しい学校と学園の森の今後の状況を見ながら、検討したいと思えます。</p>
(52)	<p>新しい学校は、中学校が2クラスということで、部活動などの活動がきちんとできるのか。</p>	<p>部活動等につきましては、開校準備委員会等で、検討することに加え、実際にどれぐらいの生徒が移動し、どの部に何人いるか確定してから、ある程度の調整をすることになると思えます。今、県で部活動改革ということで、部活動のあり方を検討しているところでもあります。開校までまだ時間があり、その時までには部活動のあり方が、今と少し異なる部分が出てくると思えますので、その時にまた具体的な形になって、お話ができるかと思えます。</p>
(53)	<p>どちらの学校からもちょうど真ん中あたりに位置しており、選べるようにしていただきたいが、無理なのか。</p>	<p>現在のところ、いずれかの学校を選べるという選択制は考えられていません。ご意見としてお伺いしたいと思います。</p>
(54)	<p>分譲地として販売した時には、まだこの学園の森義務教育学校ができていなかったと思う。分譲地とか戸数とか、人数を把握した上で学校の計画も行っているということだったが、土地を売り出した時に学園の森の学区ですということでも売り出して、距離も同じようで、途中で変えなければいけないというのが、ちょっとよくわからないのだが。最初の計画では、この全部の戸数とかを考えた上で、学園の森義務教育学校は作っていなかったということなのか。</p>	<p>学園の森義務教育学校の建設計画時にも当時の想定学区のなかで人口推計・児童生徒数の推計を行い、それを基に学校規模等を設定しました。計画当初より、学園の森義務教育学校では将来的に教室不足が生じることも想定されましたが、国庫補助の制度上、事業実施年度(学園の森義務教育学校建設事業の場合、平成28年度)から3年後(学園の森義務教育学校の場合、平成31年度)の児童生徒数・学級数から算定される分の補助金額しか得ることができず、それ以上先を見越した規模分の校舎を整備するだけの財源を確保することができませんでした。当初から教室不足に対しては、増築での対応を計画していましたが、結果として、計画当初の想定以上の人口増が生じており、今後、更なる教室不足と過大規模校化が進むことが想定されたことから、今回の(仮称)研究学園小学校・中学校の建設に至っているところです。</p> <p>また、都市計画においても、現在の学園の森義務教育学校の他に、当該建設用地((仮称)研究学園小学校・中学校建設用地)も学校用地と位置付けられていたことから、学園の森義務教育学校の分離新設校として当校を建設するに至っています。</p>

No.	ご質問・ご意見	回答
(55)	正門が1ヶ所あると思うが、そちらから生徒が入ることになる予定なのか。かなり南側の方からも通学する生徒がいると思うが、正門のみになるのか。	正門としては、敷地北東側に設けていますが、正門とは別に、児童生徒用の出入口を東側に1ヶ所、西側に1ヶ所、駐輪場への出入口を兼ねたものを南側に1ヶ所整備する予定です。
(56)	学童クラブの入口も1ヶ所と考えてよいか。	児童クラブの駐車場に関しましては、専用駐車場として、45台分を備える予定でございます。児童クラブ駐車場への出入口につきましては、児童クラブ西側1ヶ所としまして、小中学校と児童クラブの間の道路からのみ進入できる配置といたします。駐車場出入口以外の外周につきましては、車の出入りができないように、フェンスを設置する予定でございます。また駐車場出入口やその付近の道路において、車が滞留することのないように、出入口に十分な間口を持たせ、かつ、敷地内で旋回できるようにしていきたいと考えております。
(57)	遊びの広場に向かうときは、横断歩道とか、そういうものを設置するのか。	今回の建設工事のなかで横断歩道のラインを引く計画はありませんが、今後、開校に向け、警察、公安委員会等と協議をしていきたいと考えています。
(58)	前回春日から学園の森が開校されたときと、推計の方法が違うということによろしいか。あの時の推計は明らかに失敗だったと思うので、同じ推計だと今回も失敗すると思うが、その推計方法が違っているか同じかということをまず教えてほしい。今回は基本的には、前よりは信用できるということでもいいか。	推計の方法が変わりました。計画戸数100%で計算しての推計です。推計については、学校等適正配置計画をご参照ください。 つくば市学校等適正配置計画 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/mezasu/1001146.html
(59)	多目的教室というのは、何教室用意できているのか。また、令和7年度の数に足るようになっていくということか。	多目的教室等の普通教室へ転用可能な教室は、小学校で4教室分、中学校で3教室分設ける計画であり、それにより最大学級数に対応できるものと想定しています。
(60)	新しい小学校の学区で面野井とか、他の小学校の学区が入ってきているということに、ちょっと疑問を持っている。最初は学園の森義務教育学校が出来たときも、東光台が学区だった時期もあったんですけど、結局は、学園の森が爆発して、東光台は沼崎になってしまったとか、そういう経路があったと思うので、最初から面野井とか他の小学校の学区のエリアを入れてしまうと、そこにまた住宅が密集して、また爆発してしまうんじゃないのかなという、心配をしている。まず爆発した学園の森の中だけで、研究学園小に分割するみたいな案はないのか。	学園の森開校当初から、学園南1丁目はほとんどが学園の森に行っている状況があったので、推計に、学園南1丁目を入れた形になっています。今回の推計を分けた部分で、学園南を学区として入れてありますので、そこは入っております。面野井については、拡張用地の住所が面野井になりますので、県道より北側だけの地域を入れたような形での学区を考えています。面野井は、一学年5人以下であり、中東原新田も、現在の0歳から15歳まで含めて総人数が5人以下なので、その地域が、この推計以上に増えることは想定しづらいかと考えています。この学校自体が、同じ葛城地区の開発地域内にあるため、学園南1丁目も学区として入れました。面野井については、これから大規模開発はできないような市街化調整区域ですので、それほど家が建つことはないかと考えております。学園南1丁目については、推計の中には入れてありますので、そこも含めた形では、見込んでいます。
(61)	学園の森の方の敷地は、まだまだ家が建ちそうに見えるが、急に学園の森義務教育学校の学区だったけれども、やっぱり研究学園小になる、みたいなことが途中で起きたりはしないのか。	計画戸数が100%に達する推計で見えています。現段階で地域によっては、100%に近いところもあると思いますので、そういったところも見ながら、実数と推計値の差も見えています。この推計以上に、増えることはあまりないかと考えています。
(62)	学区だったり、各種警察との協力時期がいつ完了するのか、歩道とかの整備について、全般的な部分が全く見えていない。いつ自分の地域の工事が始まって、どんなふうになるかと、そういったものは全然今見えていない。これに対しては、いつ説明していただけるのか。今すぐ説明できないのであれば、またどこか時期をもって説明していただけるという認識でよいか。	通学路に関しては、随時警察等に要望しています。それと、開校準備委員会での要望については、随時警察等担当部署にお話して、回答については、準備委員会で、報告させていただいて、準備委員の保護者さんから、皆さんにお伝えさせていただいて、意見を聴取して、また委員会で話し合う形になるので、随時お答えしていくような形になります。開校準備委員会は、保護者説明会、住民説明会後になりますが、今のところ、今年の12月前後頃から開催できれはと考えています。なお、学区決定から開校までのスケジュールについては、ホームページ等によりお知らせする予定です。
(63)	流れの全般的な部分を今後出していただきたいと思うが、可能か。	説明会で使用した資料や会議録、学区決定から開校までのスケジュールについては、ホームページに掲載いたします。

No.	ご質問・ご意見	回答
(64)	今回の建設工事にかかる工事車両の出入りや時間帯等、どのぐらいの人を配置して、通学時間帯や帰りの時間帯対応されているのかお聞きしたい。	工事車両については、イエローハットとローソンの間の道路から進入する計画です。当道路は車道部分とは別に歩道が設けられた道路になっており、その道路を工事車両動線としたいと考えています。施工業者からは、原則として土日は工事は行わないが、状況に応じて、土曜日の作業も生じうるとの説明を受けています。作業時間に関しては、原則、前後30分の朝礼等の時間を含め午前8時から午後6時までとなっております。近隣の皆様への安全・住環境へ最大限配慮しながら工事を進められるよう指導していきます。
(65)	(仮称)研究学園小学校、中学校は、同じ敷地内で、義務教育学校化に対してどのように考えているか。なぜ、小学校、中学校となっているのか教えていただきたい。	つくば市内の小中学校は、義務教育学校、施設分離型の小中一貫校ということで進めてまいりました。そして今回は初めて、施設併設型の小中一貫校ということになります。義務教育学校との違いですが、形としては、義務教育学校は1年生から9年生まで一つの学校ですが、今回は二つの学校が同じ敷地にあるということで、運営側からすると校長が2人配置され、児童生徒や保護者の皆様からすると同じように行き来できますので、義務教育学校の良い点を生かしつつ、しかも二つの学校でそれぞれ運営していく形をとりました。
(66)	プールの位置がみどりのということですが、そこまでどのように移動するのかということと、授業時間中に移動するのかということをお教えいただきたい。	みどりの地区に建設予定の(仮称)みどりの学校プールを複数校で使用することを想定しています。移動方法としては、つくば市で用意したバスを使用して移動になります。(仮称)みどりの学校プールまでの移動時間に片道30分程要しますが、まとまった授業時数分プールの授業に充てることのできるよう特別日課を組むことで対応したいと考えています。
(67)	1年生で、買いそろえた教材や体操服などは、新設の学校に入学するにあたって、また買い揃えが必要となってくるのか。	保護者説明会、住民説明会后、開校準備委員会を立ち上げる予定です。その中で、買い替えとなるとご負担が大きいのと思いますので、現行の体操服をそのまま使のか、新しいものにするのか、保護者の皆さんで決めてもらえればと思います。
(68)	学区が変更になる場合、すでに学園の森に通っている場合は、強制的に転校になるのか知りたい	この学区案がそのまま決定となれば、開校する令和5年4月に新しい学校の学区にお住いの新小学校1年生から新中学校3年生までのお子さんのいらっしゃるご家庭については、令和4年11月末頃に就学通知をお送りします。令和5年4月からは新しい学校が指定になるという通知です。原則的には新しい学校になりますので、新しい学校以外を希望する場合には、学区外申請が必要になります。学区外申請については、お子さんやご家庭の事情等申請内容について審議し、希望される学校のキャパシティや受け入れ困難校になっている等の状況を考慮し、お子さんやご家庭の事情等を基準に照らし合わせて、承認するか承認しないかになります。学区外の基準については、こちらのURLにてご確認ください。 https://www.city.tsukuba.lg.jp/kosodate/kyoiku/shitei/1004169/1001161.html
(69)	通学区域の決定はいつ頃かということ、準備委員会の開催の目安、ほかに必要な会があれば教えていただきたい。	学区については、就学通知を令和4年11月末に出すため、10月までには教育委員会で規則の変更が必要になります。準備委員会は、今年の12月頃から立ち上げて進めさせていただきたいと考えています。専門の会を作るかは準備委員会の中で決めていくお話になるかと思います。なお、学区決定から開校までのスケジュールについては、ホームページ等によりお知らせする予定です。
(70)	登校班を作るのか伺いたい。春日まで遠かったため、バスで一年間通ったが、その時は車での送迎は厳しく禁止されたが、学園の森が開校したら、生徒が減って春日には車での送迎ができるようになったと聞いた。車の送迎がでてくると思うが、学校へ行くのに研究学園2丁目を必ず通ると思う。交通量が増えることを心配している。	登校班についてですが、市内の小中学校でも登校班で登校しない学校もありますので、学校がスタートする前、準備委員会の中で必要があるかどうかについても含めて検討していくことになると思います。今回、分離ということもあるので、基本的な登校班は編成されると思いますが、保護者の方々と学校で準備の段階で調整していく必要があると思います。今の段階で、こちら側で決めていくことは考えていませんので、準備委員会で話し合っ決めていくようになるかと思います。新設校開校後に保護者の送迎等によって、研究学園二丁目内の交通量が増えることで、近隣にお住まいの方々に迷惑をおかけしてしまうことを懸念しているところです。教職員用及び来校者用の駐車場を校舎側ではなく、西側の拡張グラウンド側に整備する計画です。西側敷地の駐車場内へは、研究学園二丁目の住宅街を通過せずに、市道1019号線から直接進入することが可能となるため、研究学園二丁目内の交通量の増加を最小限に留められるものと考えています。

No.	ご質問・ご意見	回答
(71)	グラウンドについて、開校と同時に設置されるのか。プールが令和6年オープンのため、開校から1年あるが、どのように授業を行っていくのか知りたい。	西側の拡張グラウンドについては、令和3年秋頃から工事着手し、校舎と同時(令和5年4月)の供用開始を予定しています。 開校年度の令和5年度のプールについては、既存の近隣の学校のプールや民間のプール等を借用することで対応したいと考えています。
(72)	学園の森義務教育学校ができてからもプレハブができ、子供たちが激増している。当初、計画の予想以上だったのか、計画が甘かったのか、新しい学校でも同じようなことが起きると、グラウンドにプレハブ校舎を作る必要があるのかどうかについて、どのようにお考えなのか教えていただきたい。	児童推計ですが、開発地域について、計画戸数と計画人口が発表されています。今回の推計では、その計画戸数が100%になり、100%になるのに何年かかるかを、一番早いパターンを5年間で見込んで、5年刻みの5年、10年、15年、20年の4パターンで計算しました。今回の資料は、一番早い5年間で100%になるという推計をもとに計算しています。その数値を基にした学校、教室数を考えています。 開校時は、小学校:各学年3学級×6学年=18学級、中学校:各学年2学級×3学年=6学級分の普通教室を整備する計画ですが、今回行った推計では、小学校:最大19学級程度(令和8年頃)、中学校:最大9学級程度(令和13年頃)分の児童生徒数となることが見込まれています。想定する最大学級数に対応するために、予め多目的スペースを普通教室に転用しやすい設計としており、それによって、小学校:最大22学級分、中学校:最大9学級分の児童生徒数に対応できるものと考えています。そのため、今後、敷地内に更なる増築の計画はありません。
(73)	研究学園3丁目の中でも、北側に位置している場所に住んでいる。今の学園の森より少し遠くなるかなと思うが、3丁目としてひとくくりとして考えられてしまうのか、どうなのかお聞きしたい。	学区については、距離や人数を含めて考えましたけれども、子供会など色々なつながりがありますので、行政区(丁目)は、できる限り切らずに、一つとして同じ学校に分けています。ただし、研究学園5丁目に関しては、大通りの北と南に分かれていますので、そこは道路で切る形とし、それ以外は行政区単位で切る形とした案を学区審議会に出して、審議していただいた結果、このような答申となっております。

質問内容に関する分類	主な回答担当課
通学区域、学区に関する事／通学方法、通学路に関する事	学務課
学校施設(校舎、体育館、教室、駐車場等)に関する事／施設の地域開放に関する事／その他	教育施設課
教育カリキュラム等、児童生徒のケアに関する事	学び推進課
児童クラブに関する事	こども育成課
(仮称)みどりの学校プールに関する事	スポーツ施設整備室